

「幸市民館・幸市民館日吉分館・幸図書館・ 幸図書館日吉分館」の指定管理者制度の導入について



幸市民館・幸図書館外観



日吉分館外観
(図書館分館・市民館分館)

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課

1 本市の市民館・図書館について

●市民館（公民館）

- 【川崎区】教育文化会館 ／ 大師分館 田島分館
- 【幸 区】幸市民館 ／ 日吉分館
- 【中原区】中原市民館
- 【高津区】高津市民館 ／ 橘分館
- 【宮前区】宮前市民館 ／ 菅生分館
- 【多摩区】多摩市民館
- 【麻生区】麻生市民館 ／ 岡上分館

●図書館

- 【川崎区】川崎図書館 ／ 大師分館 田島分館
- 【幸 区】幸図書館 ／ 日吉分館
- 【中原区】中原図書館
- 【高津区】高津図書館 ／ 橘分館
- 【宮前区】宮前図書館
- 【多摩区】多摩図書館 ／ 菅閲覧所
- 【麻生区】麻生図書館 ／ 柿生分館

分館のうち、市民館・図書館の両機能を備える館は**プラザ館**と呼ばれ、施設管理・運営は区役所が行っている。

（該当施設）

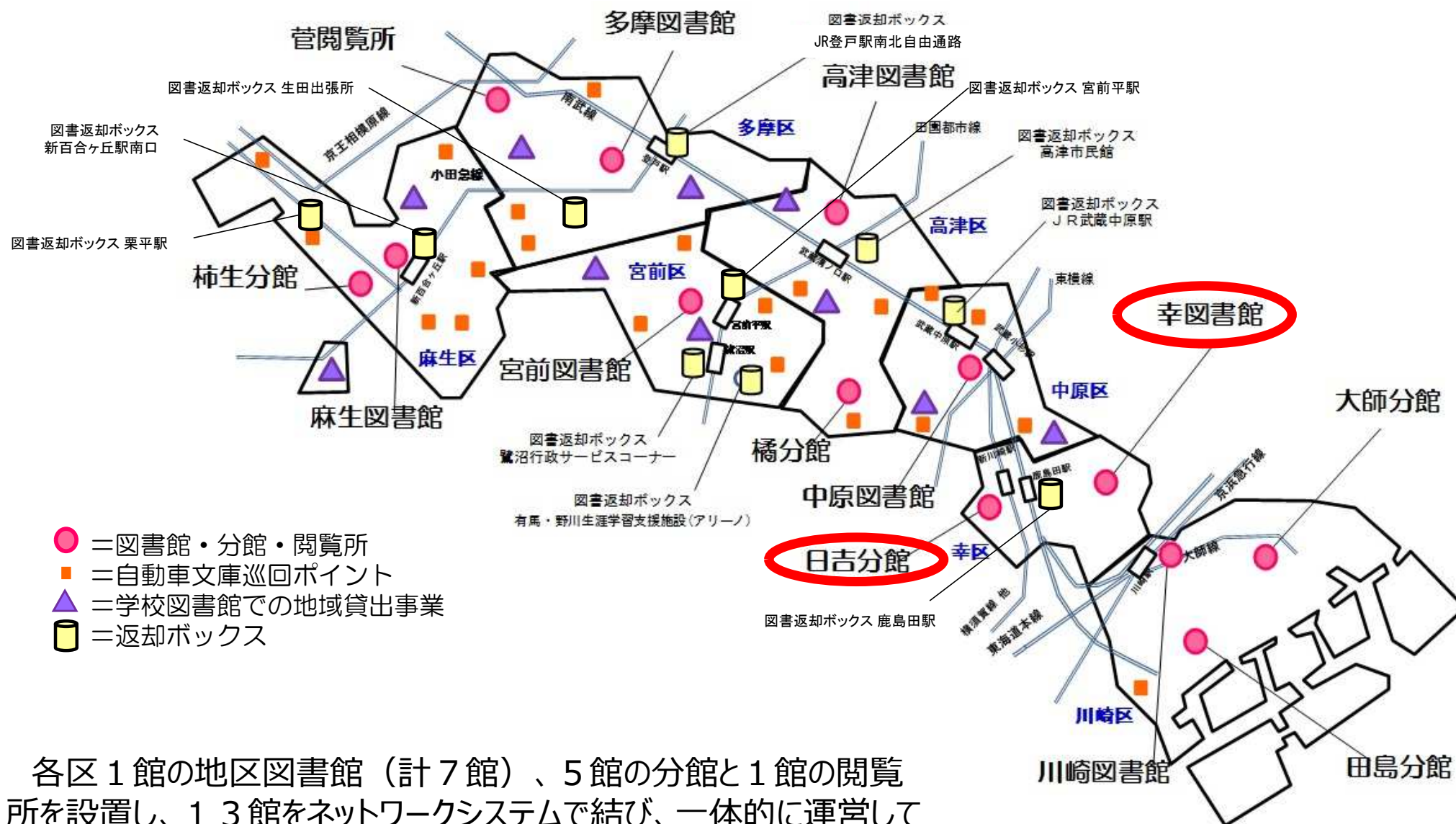
大師分館、田島分館、
日吉分館、橘分館

2 市民館の設置状況



各区に 1 館（計 7 館）の、「公民館」と大ホールやギャラリーを備えた「文化会館」の 2 つの機能を持つ市民館を設置しています。また、地域に密着した施設として 6 館の分館を設置し、市民の主体的な学習活動を支援しています。

3 図書館等の設置状況



各区 1 館の地区図書館（計 7 館）、5 館の分館と 1 館の閲覧所を設置し、1 3 館をネットワークシステムで結び、一体的に運営しています。また、自動車文庫が市内循環を行っています。

さらに、市内 9 か所に返却ボックスを配置するなど、市民の利便性の向上を図っています。

4(1) 指定管理者制度の導入

「今後の市民館・図書館のあり方」(令和3(2021)年3月策定)

社会状況が変化し、市民ニーズも多様化する中、市民館・図書館が、地域の中でそれぞれの機能を最大限に発揮しながら、全ての市民が生涯を通じて学び続けることができるよう、概ね10年後の未来を見据えた理念を掲げ、その役割を果たしていくため、それぞれの施設運営や施設整備の方向性を示すものとして策定しました。

「市民館・図書館の管理・運営の考え方」(令和4(2022)年8月策定)

市民からの多様なニーズに的確かつ柔軟に対応し、従来からの事業・サービス水準をしっかりと維持しつつ、新たな取組を展開していくために、「今後どのような管理・運営の手法が、その実現のために適しているのか」、「生涯学習推進の拠点として最も市民ニーズに沿った市民館・図書館であるためにどうしたらよいのか」という視点に立ち効率的・効果的な管理・運営手法を検討しました。

指定管理者制度の導入決定

・市民館 13館全館導入

教育文化会館、大師分館(プラザ大師)、田島分館(プラザ田島)、幸市民館、日吉分館(プラザ日吉)、中原市民館、高津市民館、橘分館(プラザ橘)、宮前市民館、菅生分館、多摩市民館、麻生市民館、岡上分館

・図書館 8館導入(4館は直営館)

大師分館(プラザ大師)、田島分館(プラザ田島)、幸図書館、日吉分館(プラザ日吉)、橘分館(プラザ橘)、宮前図書館、麻生図書館、柿生分館

令和10年10月以降運営開始予定の、
幸市民館・幸市民館日吉分館・幸図書館・幸図書館日吉分館の
指定管理者を募集します。

4(2) 指定管理者制度の導入

「今後の市民館・図書館のあり方」(令和3(2021)年3月策定)

社会状況が変化し、市民ニーズも多様化する中、市民館・図書館が、地域の中でそれぞれの機能を最大限に発揮しながら、全ての市民が生涯を通じて学び続けることができるよう、概ね10年後の未来を見据えた理念を掲げ、その役割を果たしていくため、それぞれの施設運営や施設整備の方向性を示すものとして策定しました。

10年後の未来に向けて

「人生100年時代の生涯学習社会の実現」 ～ 生涯を通じた学びと成長 ～

10年後の川崎の未来に向けて、「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」を通し、持続可能な地域づくりと安心して暮らし続けられるしくみづくりを進め、人生100年時代の生涯学習社会を実現する。

今後求められる役割

「学びと活動を通じたつながりづくり」

市民館・図書館は、市民自身が学習の成果を地域での活動に活かすことで充実感を味わい、更なる学びにつなげていくとともに、学びと活動を循環させることで、持続可能な社会の実現に向けた「人づくり」や「地域づくり」が図られるよう、それぞれの強みや資源を活かした連携を進めながら、「学びと活動を通じたつながりづくり」の役割を果たしていく。

今後のめざす方向性

行きたくなる市民館・図書館 ～利用及び参加の更なる促進～

「誰もが行きやすい・参加しやすい」、
「また行ってみたい・参加したい」市民館・図書館となることをめざす。

まちに飛び出す市民館・図書館 ～身近な地域に立脚した取組の推進～

まちに広がり、つながり、地域の誰もが
身近に感じるような市民館・図書館となる
ことをめざす。

地域の“チカラ”を育む 市民館・図書館 ～地域資源や担い手づくりの推進～

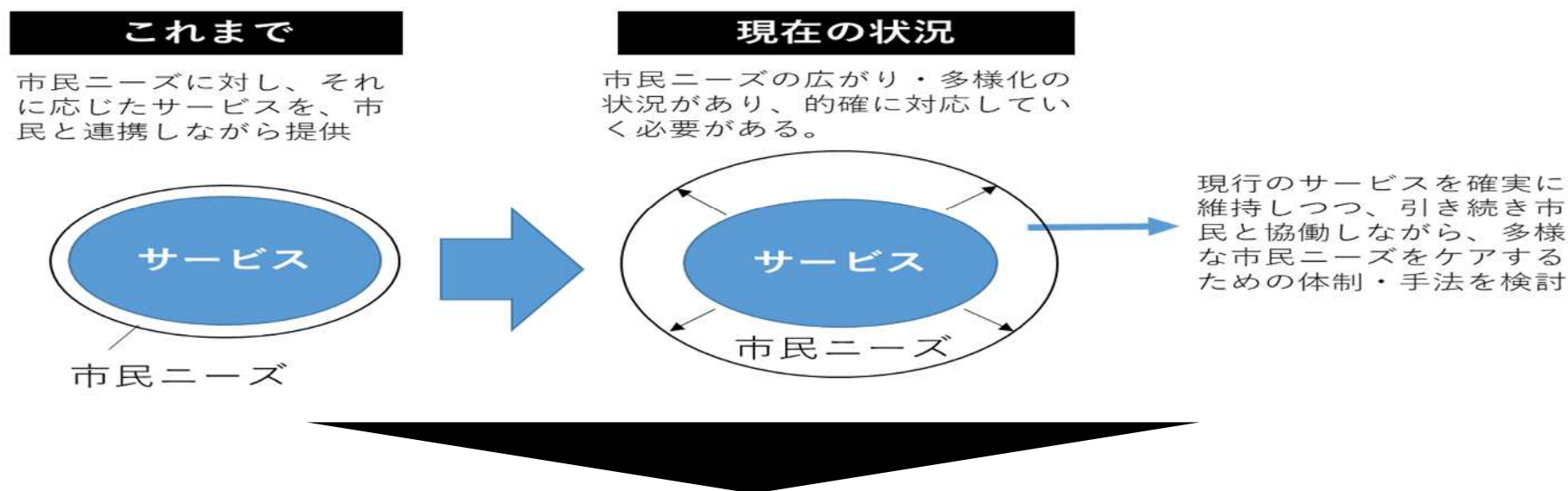
人づくり、つながりづくりを支える
市民館・図書館となることをめざす。

※詳細は、「今後の市民館・図書館のあり方」(令和3(2021)年3月策定)を参照
<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000115175.html>

4(3) 指定管理者制度の導入

「市民館・図書館の管理・運営の考え方」(令和4(2022)年8月策定)

市民からの多様なニーズに的確かつ柔軟に対応し、従来からの事業・サービス水準をしっかりと維持しつつ、新たな取組を展開していくために、「今後どのような管理・運営の手法が、その実現のために適しているのか」、「生涯学習推進の拠点として最も市民ニーズに沿った市民館・図書館であるためにどうしたらよいのか」という視点に立ち効率的・効果的な管理・運営手法を検討しました。



多様なニーズ・課題への対応に向け、民間事業者の発想や工夫、またノウハウ及びマンパワーを有効に活用しながら、事業・サービスの質を向上させつつ、これまでの本市が培ってきた知識・経験の継続や、公共性にしっかりと配慮したうえで、市民館及び図書館の新たな管理・運営手法として、「指定管理者制度」の導入を行うこととしました。

※詳細は、「市民館・図書館の管理・運営の考え方」(令和4(2022)年8月策定)を参照
<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000115175.html>

5 指定管理者制度導入予定時期

【市民館】

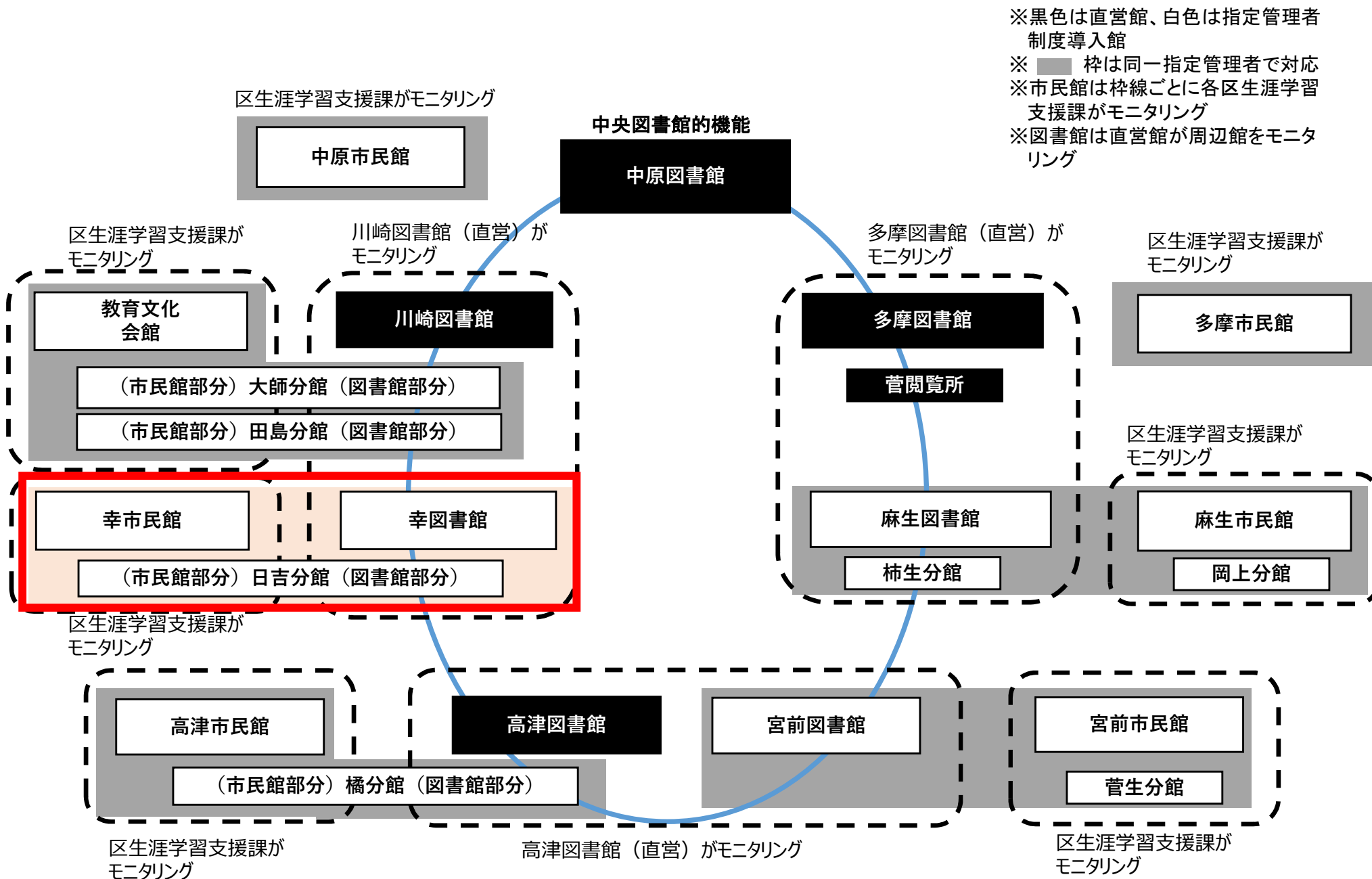
市民館	導入予定時期
教育文化会館	令和9(2026)年11月(選定中)
大師分館(プラザ大師)	令和9(2026)年11月(選定中)
田島分館(プラザ田島)	令和9(2026)年11月(選定中)
幸市民館	令和10(2028)年10月以降
日吉分館(プラザ日吉)	令和10(2028)年10月以降
中原市民館	令和7(2025)年4月導入済
高津市民館	令和7(2025)年4月導入済
橘分館(プラザ橘)	令和7(2025)年4月導入済
宮前市民館	宮前市民館の移転後
菅生分館	宮前市民館の移転後
多摩市民館	令和8(2026)年4月導入済
麻生市民館	令和8(2026)年4月導入済
岡上分館	令和8(2026)年4月導入済

【図書館】

図書館	導入予定時期
川崎図書館【直営館】	—
大師分館(プラザ大師)	令和9(2026)年11月(選定中)
田島分館(プラザ田島)	令和9(2026)年11月(選定中)
幸図書館	令和10(2028)年10月以降
日吉分館(プラザ日吉)	令和10(2028)年10月以降
中原図書館【直営館】	—
高津図書館【直営館】	—
橘分館(プラザ橘)	令和7(2025)年4月導入済
宮前図書館	宮前図書館の移転後
—	—
多摩図書館【直営館】	—
麻生図書館	令和8(2026)年4月導入済
柿生分館	令和8(2026)年4月導入済

※幸市民館・図書館については大規模改修工事(R8.12月～R10.7月)を予定していますが、工事状況によりスケジュールが変更になる場合があります。

6 指定管理者制度導入後の各館関係図



7 今後のスケジュール(予定)

令和9年7月頃	指定管理者募集
令和9年10月頃	民間活用事業者選定評価委員会 (指定管理予定者の選定)
令和9年11月～12月	指定議案の市議会への提出 (指定管理者の指定)
令和10年1月～	協定書締結
令和10年1月～	市から指定管理者への引継ぎ・ 指定管理者による運営開始準備
令和10年10月～	指定管理開始

8(1) 施設詳細

【導入施設】

令和10年10月1日から、幸市民館・幸市民館日吉分館・幸図書館・幸図書館日吉分館への導入を予定しております。※4施設を一体で運営していただく予定です

【施設詳細】

名 称	幸市民館	幸図書館	日吉分館(市民館)	日吉分館(図書館)
位置	幸区戸手本町1-11-2		幸区南加瀬1-7-17 幸区日吉合同庁舎3階	
延べ床面積 (令和8年4月時点)	5,201㎡	886㎡	1,112㎡	246㎡
延べ床面積 (令和10年10月予定)	6,087㎡		同上	同上
施設内容	ホール、大会議室、 体育室等	蔵書数約13万8千冊 (138,715)	和室、実習室、 学習室等	蔵書数約3万7千冊 (37,666)
建築年月日	昭和55年7月1日 ※大規模改修工事予定		平成15年7月1日	
利用時間	午前9時から 午後9時まで	・月～金曜日 午前9時30分から 午後7時まで ・土・日曜・祝休日 午前9時30分から 午後5時まで	午前9時から 午後9時まで	・月～金曜日 午前10時から 午後6時まで ・土・日曜・祝休日 午前10時から 午後5時まで
休館日	毎月第3月曜日及び年末年始(12月29日～1月3日) (第3月曜日が祝休日の場合は翌日)			

8(2) 施設詳細(交通案内)

【幸市民館・図書館】

- JR南武線矢向駅から【図1参照】
徒歩約15分
- JR南武線鹿島田駅から【図2参照】
徒歩約20分
- JR川崎駅「川崎駅ラゾーナ広場」のりばから、
市営バス71系統「小杉駅前」行
「幸区役所入口」下車徒歩3分
- JR南武線・東急東横線 武蔵小杉駅「小杉駅前」のりばから、
市営バス71系統「川崎駅ラゾーナ広場」行
「幸区役所入口」下車徒歩3分



↓【図1】 JR南武線 矢向駅から



←【図2】 JR南武線 鹿島田駅
JR横須賀線 新川崎駅 から

8(2) 施設詳細(交通案内)

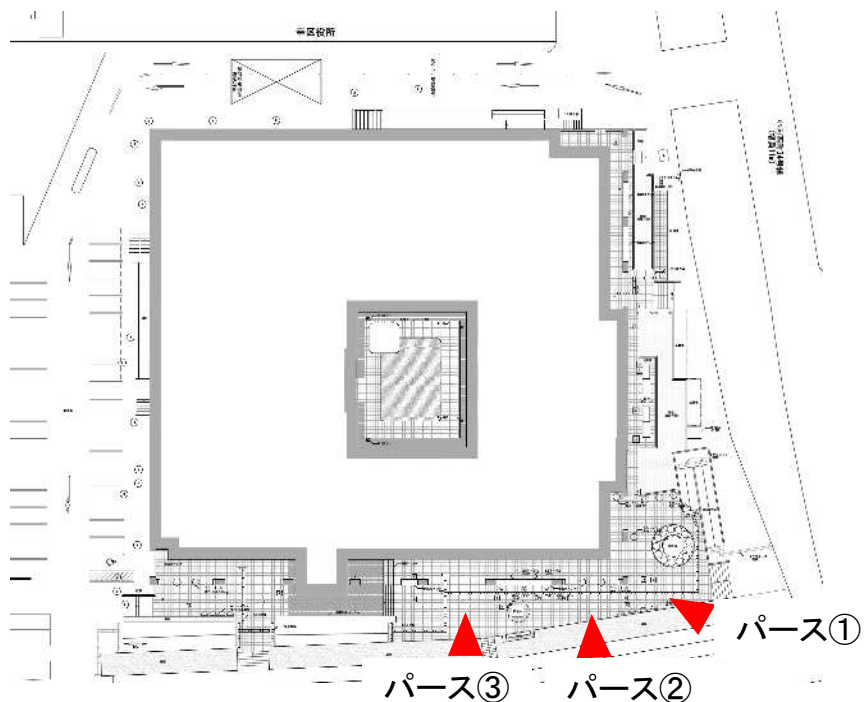
【日吉分館】



- JR横須賀線新川崎駅 (徒歩15分) ●JR南武線鹿島田駅 (徒歩20分)
- JR川崎駅「川崎駅ラゾーナ広場」のりばから、市営バス66系統「井田病院」行 83系統「江川町」行「夢見ヶ崎動物公園前」下車徒歩3分
- 東急東横線元住吉駅 「元住吉バス停」から、市営バス66系統「川崎駅西口」行「夢見ヶ崎動物公園前」下車徒歩3分

8(3) 施設詳細(改修後の幸市民館・図書館)

【外観イメージパース】



パース①



パース②



パース③

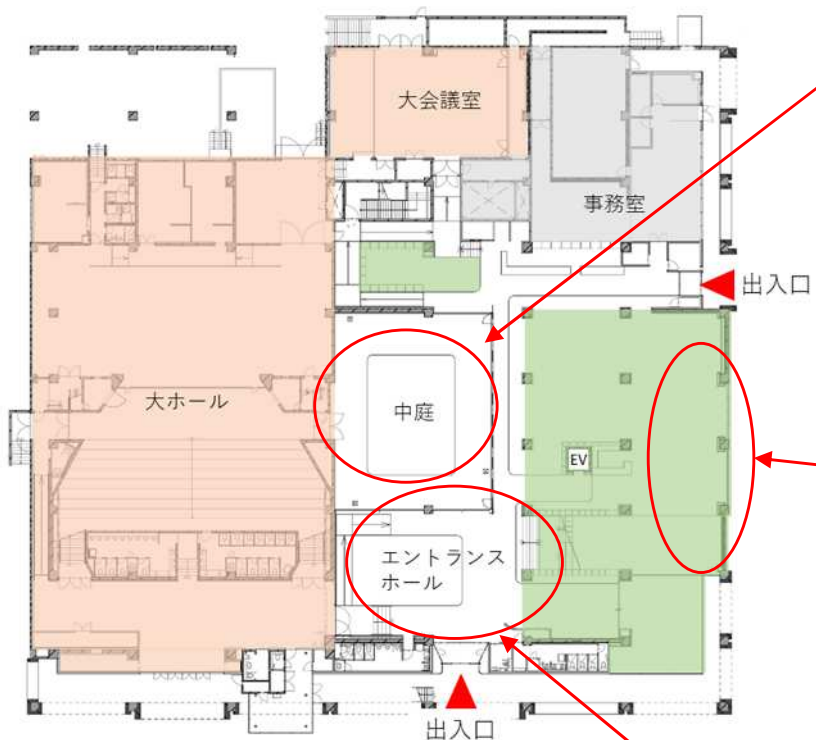


※パースはイメージであり、変更が生じる可能性があります。

8(3) 施設詳細(改修後の幸市民館・図書館)

【平面計画・イメージパース】

【1階】



凡例

- 市民館諸室
- 書架・閲覧席
- 倉庫等
- 共用部等

BEFORE



AFTER



普段利用のない中庭を休憩や読書ができるなど有効活用



既存の竹林を活かした図書館空間



エントランスホールと階段が一体となる空間

※パースはイメージであり、変更が生じる可能性があります。

8(3) 施設詳細(改修後の幸市民館・図書館)

【2階】



凡例

- 市民館諸室
- 書架・閲覧席
- 倉庫等
- 共用部等

BEFORE



AFTER



市民館諸室の活動の見える化により新たな発見の創出



2階に書架を配置



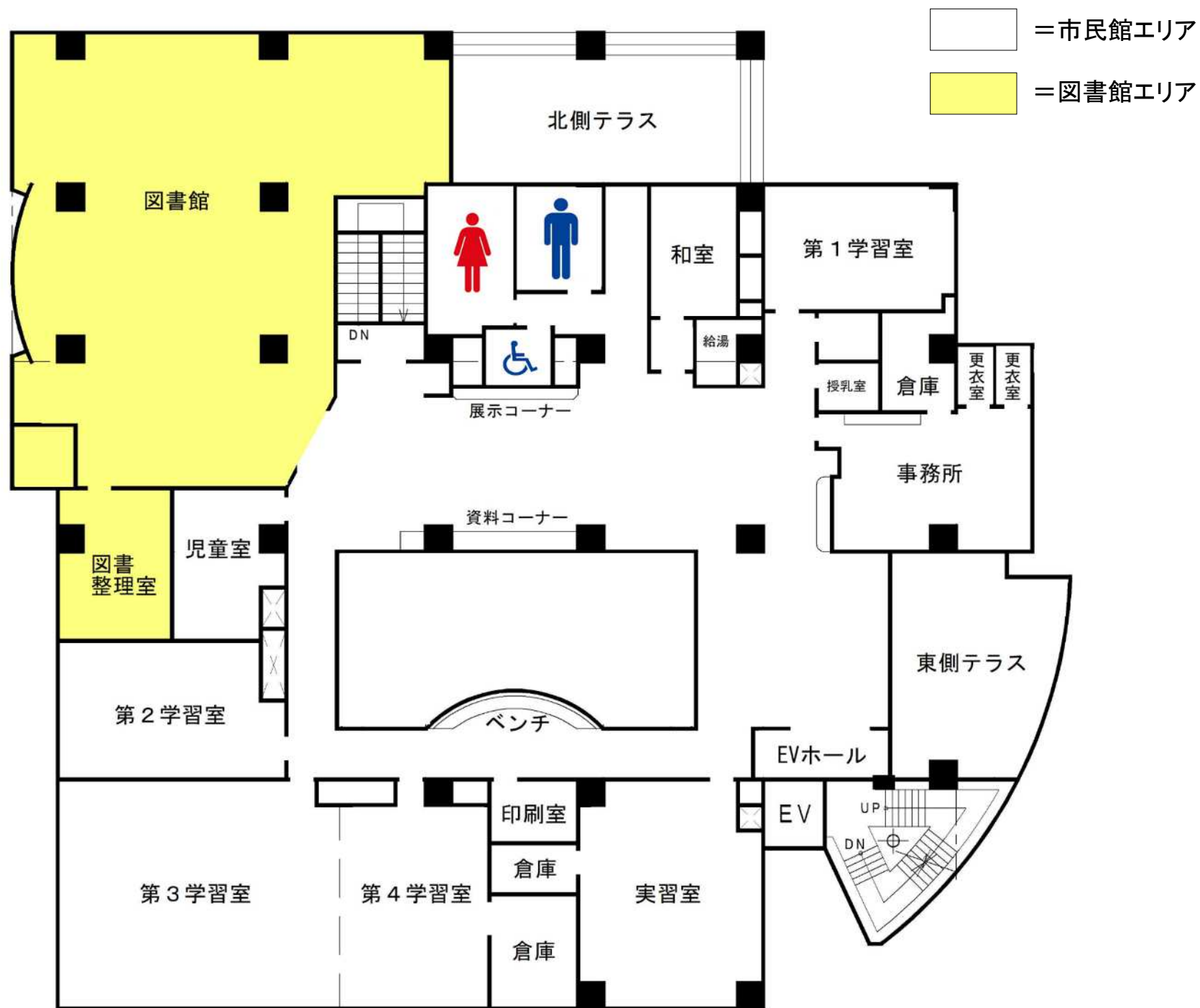
グループワーク等様々な学習が可能となる空間を配置

※パースはイメージであり、変更が生じる可能性があります。

8(4) 施設詳細(日吉分館)

【日吉分館】

日吉合同庁舎
3階平面図



9 市民館の現状と課題

市民館の現状と課題（全館）

市民館は、貸館事業と社会教育振興事業（講座）を行っています。

●貸館事業の状況（受付・貸館・施設維持管理業務は業務委託）

過去4年間（令和4年度～令和7年度）の教育文化会館・市民館・分館の施設利用率は、令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で一度利用が落ち込んだ後、回復傾向にありますが、活動団体の減少や利用スタイルの変化などにより、コロナ禍以前の水準に戻っていません。機能別の利用率（令和6年度）は、ホールが約7割と比較的高い状況ですが、会議室が6割弱、音楽室や料理室等の教養室が5割強となっています。教養室の中でも体育室は大多数の館で利用率が9割を超えるなど、諸室の性質によって利用状況に差が出ています。また分館の平均利用率は5割弱となっています。

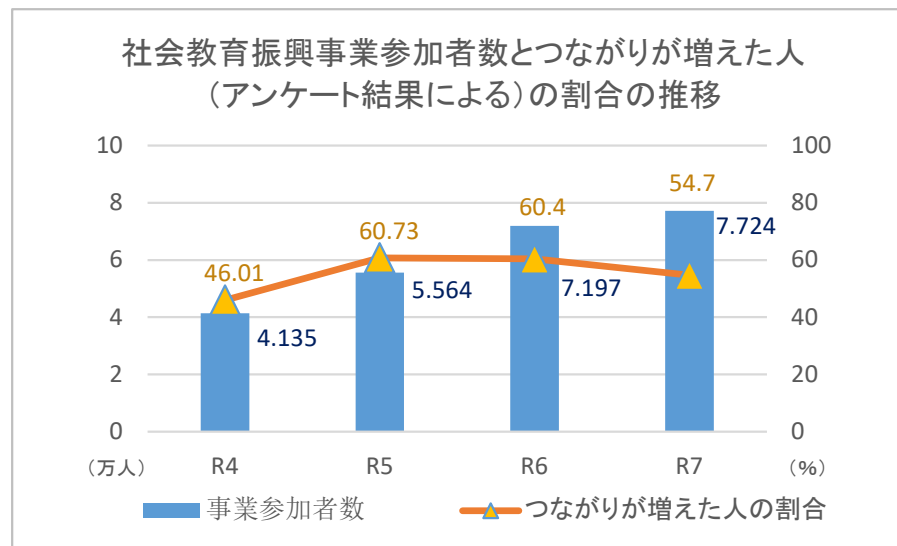
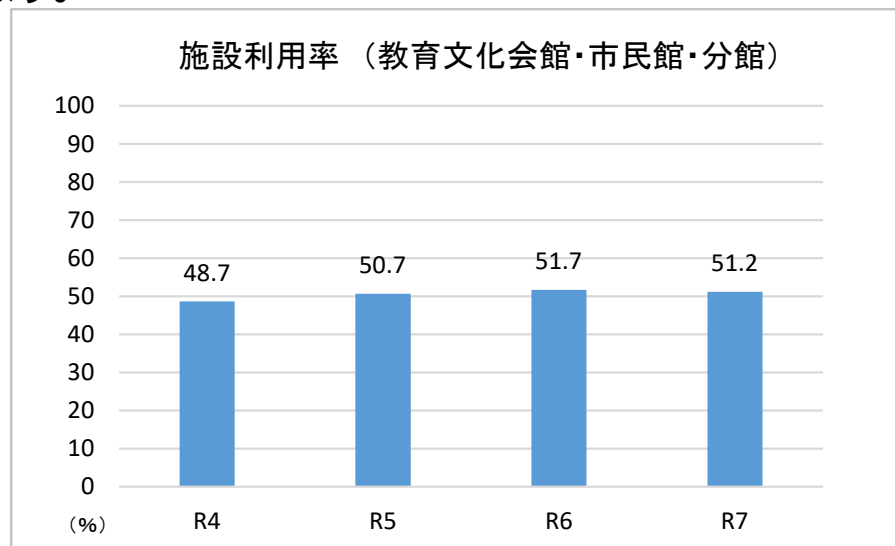
→スペースの有効活用によるオープンな居場所づくりや社会状況の変化やニーズに応じた利用ルールの検討など、利用しやすく、活動しやすい、魅力的な場となるよう工夫・改善が必要です。

●社会教育振興事業の状況（館を中心とした社会教育振興事業は直営で実施）

ライフステージに応じた講座のテーマ設定等により利用促進に取り組んでおり、過去4年間（令和4年度～令和7年度）の事業への参加者数は、年々増加しておりますが、市民ニーズに対応した学びの支援や広報が十分とは言えない状況があります。事業参加者の年代は、若い世代の参加が少なく、約半数が60歳代以上になっています。また、商業施設や地域の関係機関等と連携し、出張型事業を実施していますが、事業の多くは市民館及び分館を拠点として実施しています。

→全ての世代を対象に学習機会の充実を図り、生涯学習機会の充実を図り、生涯学習の裾野を広げるために、若い世代も含めてより参加しやすく魅力的な事業となるよう工夫・改善が必要です。

→市民館及び分館を地域の生涯学習の拠点としながら、これまで以上に地域の中に学びや活動の場を増やしていく必要があります。



9 市民館の現状と課題

幸市民館・日吉分館の特徴

幸市民館

- 各室の利用は、地域住民中心のサークル活動が盛んなため、定期的・継続的利用団体が多く、特に体育室は卓球やダンスを中心に、利用率は100%に近い状況です。
- 大ホールは土日を中心に吹奏楽、ダンス、演劇など、多くの団体に利用されています。市民館ホールでありながら、充実した舞台設備を備えており、本格的な舞台・音楽公演や、音楽以外の多目的にも利用できる規模（840席）で、多世代にわたって利用されています。
- 社会教育振興事業は、参加者は多いものの、継続的な事業実施が多く、新たな試みも少ないことから、参加者の固定化・高齢化がみられます。

⇒**地域住民に親しまれ、育てられた地域密着型で区の文化拠点である本格的なホールを備えた市民館である一方、新規利用が少なく、利用者の硬直化が進んでいるとともに、長期継続利用者も多いことから高齢化が進んでいます。**

日吉分館

- 平成10年度の基本構想づくりから市民と行政のパートナーシップにより整備がすすめられ、日吉出張所との合築の利点を活かした地域の身近な自主的な学習・文化活動の拠点として造られた生涯学習施設です。
- 開館から20年以上が経過し、各種事業において地域の担い手不足が顕著になりつつあります。
- 社会教育振興事業は、継続的な事業実施が多く、新たな試みも少ないことから、参加者の固定化・高齢化がみられます。

⇒**地域住民に親しまれているものの、利用者の硬直化・高齢化が進んでいます。**

10 図書館の現状と課題

図書館の現状と課題（全館）

選書、新規利用者登録、レファレンスサービスは直営で行い、貸出し・返却カウンター、配架、予約巡回、書庫出納等は業務委託で行っています。

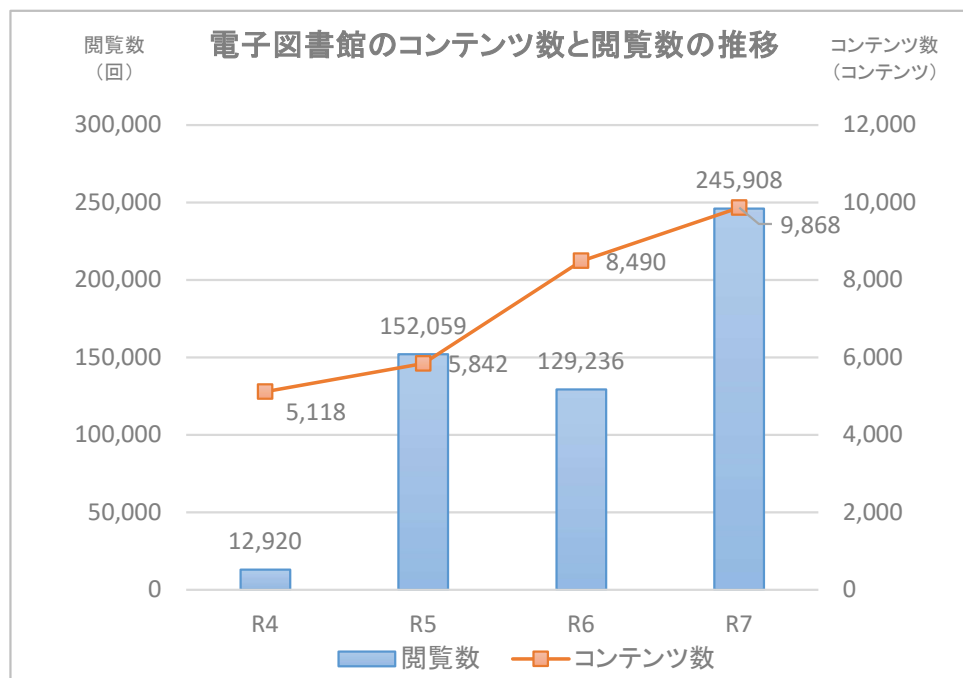
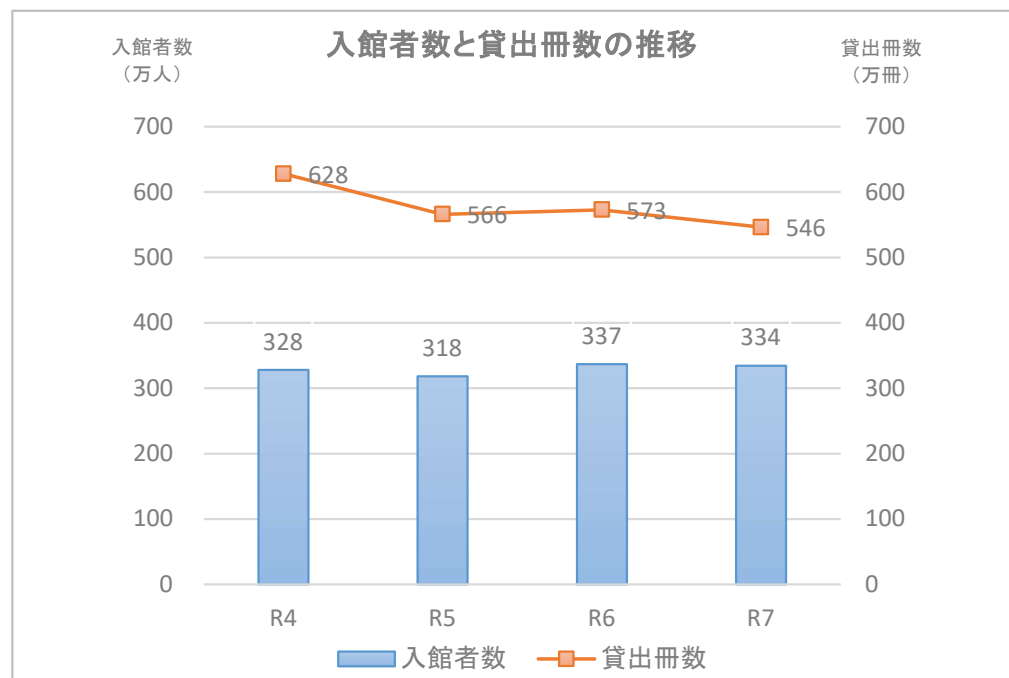
● 図書の貸出・閲覧スペースの提供

・ 個人利用者への図書資料の貸出冊数、入館者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により一度大きく減少し、その後回復傾向にはありますが、コロナ禍以前の水準には戻っておりません。

・ 令和6年10月から本格実施した「かわさき電子図書館」については、約9500点のコンテンツに対し、約7万1千件の貸出があり、小学校を中心に読み放題資料の利用も多く見受けられました。

→ 市民の図書館利用において、電子書籍の利用拡大など非来館型利用の拡大も進んでいる状況の中で、引き続き高い読書意欲に応えられるよう、市民が求める図書館像を的確に捉え対応していくことが重要です。

→ 新たな市民ニーズに対応できる利用ルールの柔軟な見直しなど、来館、非来館に関わらず、市民が求める図書館サービスのあり方について、引き続き検討していく必要があります。



10 図書館の現状と課題

幸図書館・日吉分館の特徴

幸図書館

- 1980（昭和55）年、幸文化センター（幸市民館と幸図書館の複合館）として開館。
- 蔵書数約138,715冊、児童書43,503冊
- 駅近くの立地ではないため、予約本の受取や返却のみの短時間利用よりも、読書をしたり、勉強したりと利用時間が比較的長い滞在型図書館としての傾向が見られ、地域住民のリピーターが多いと推測されます。
- 改修工事に向けた市民意見聴取ワークショップでは、図書館に対し「自由に勉強できる場所が欲しい」「閲覧席を増やしてほしい」「会話できる広く自由な空間にしてほしい」等の意見がありました。

⇒長時間の滞在にも適した閲覧席の充実、会話できるような自由な空間づくりを行い、日常生活や生活習慣の一部として利用してもらうよう、これまでの利用者への更なる利便性向上と、これまで利用していなかった人もふらっと立ち寄って自由に過ごせる雰囲気づくりが重要です。

日吉分館

- 平成10年度の基本構想づくりから市民と行政のパートナーシップにより整備がすすめられ、現在の蔵書数は37,666冊であるが、児童書が18,481冊と半数近くを占めています。
- 来館者数は減少傾向にあるものの、他館からの予約本の貸出・返却は増加傾向にあります。
- 夢見ヶ崎動物公園の入口付近にあることから、子ども連れの家族の来館が多く見受けられます。

⇒地域住民に親しまれており、立地や蔵書の傾向もあって、児童書貸出冊数の割合が他館より多い傾向にあります。

11 民間事業者様に御意見を求めたい事項

1 参画するための課題はありますか

- ・市民館業務と図書館業務を一体で募集することによる参加障壁や対応策
- ・大規模改修直後の施設を管理運営する際の課題
- ・幸市民館図書館と日吉分館という2つの施設を効率的・効果的に管理運営するための手法 等

2 民間事業者様のノウハウを発揮するためのアイデアはありますか

- ・利用率や利便性を向上する効果的な手段
- ・若い世代などの未利用者を取り込む手法
- ・エントランスホールや中庭等の施設の有効活用
- ・地域住民に活用してもらうための工夫
- ・既存の地域活動者と協働するためのポイント
- ・休館による利用者離れを招かないようリニューアル後の工夫

3 その他、御提案や御意見

- ・引継ぎ期間や開館準備、費用負担等
- ・幸市民館と図書館のシームレスな配置と開館時間